

平成30年度(2018)第1回出雲市介護保険運営協議会会議録(要旨)

1. 開会	本協議会を公開で開催、傍聴人 1名
2. 部長あいさつ	省略
3. 会長あいさつ	省略
4. 議事	
会長	議事が二つございます。最初に7期計画に係る成果指標の設定について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<u>資料1の説明</u>
会長	続いて平成30年度介護保険運営協議会・部会スケジュールについて説明をお願いいたします。
事務局	<u>資料2の説明</u>
会長	<p>どのような指標を立てないといけないかということは別紙資料にあり、それを立てるスケジュールとして11月に指標を決定して、第7期計画から行っていかないといけないので2月に評価を行っていく。協議会の中で行っていくことになるが、全体では議論がなかなかできないので、部会の中で11月までのところで検討していくというスケジュールとなっています。</p> <p>今後、原案は事務局で作成していかれるが、委員の立場で議論を行っていくということとなります。</p> <p>これについて、ご意見ご質問はありませんか。</p>
A委員	この評価に関しては、保険者の機能強化ということですか。被保険者側の評価に関しては、これまでとおりですか。
事務局	<p>この評価指標を作成していくことは初めての作業であるために、ひな形があるわけではありません。国が示している保険者機能に関しては、インセンティブ交付金の査定項目が示されているので、これを行っていかないといけないところです。出雲市の7期計画の中で全て該当になるというものでもございません。事務局側で原案を提示させていただいて、委員の皆様の立場でこういう評価項目があるのではないかと議論をいただいて、最終的に第2回の協議会で決定して、第3回の協議会で評価を行っていくということになります。</p> <p>保険者機能の評価だけを言っていて被保険者に関しての評価等が入っていないので、それらを踏まえて検討をいただいて、評価項目として決定していきたいと考えます。初年度であるので、1年目の評価と2年目の評価と変わってくる場合</p>

	も考えられます。
B委員	このインセンティブの評価項目については、沢山ある中での介護保険のもので すか。
事務局	狭い意味では介護保険、広い意味では地域包括ケアという項目も含まれていま す。
B委員	わかりました。インセンティブ交付金はいろんな分野であると思うので。
会長	各分野でインセンティブ交付金が設定されているが、ここでは、介護保険と在 宅医療介護連携と地域包括ケアについての交付金となります。 その他にありませんか。
C委員	出雲市が満点であった場合、この交付金はいくらもらえるのですか。
事務局	全国の保険者の点数を合計して、それ分の市町村の得点という割合で計算され るので、全国の総得点がいくらであるのかで動いていくので、現段階では予測は 難しいです。
C委員	わかりました。上限が 190 億円ということで、全国の市町村の配点によって変 わってくるということですね。
事務局	そのとおりでございます。
会長	全国の市町村が関わってくるので、大きな額にはならないと思うが、出雲市の 介護保険の内容を良くする、役に立つような指標を作ることが大事かなと考えま す。
5. 報告事項	
会長	続いて報告事項（1）第 6 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画期間の実績に ついて、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	（1）第 6 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画期間の実績について <u>資料 3～7 の説明</u>
会長	介護給付費について、見込んでいた計画額に対し、平成 29 年度実績額は 96%弱 となりました。これは総合事業に移行したことも考えられるが、介護人材が不足 していることも考えられます。総合事業では、福祉用具購入や住宅改修ができな いので、8割の人はそのまま介護認定を受けている状況です。施設サービスや地 域密着型サービスについては施設が増えたため利用者増加となりました。

	<p>介護予防について、地域の活動で取り組んでもらっています。こういったことから、第6期計画について、概ね計画通りに推移していると思われます。</p> <p>リハビリの関係は整形外科のクリニックが地域に出かけて行っているということもあり人材も増えてきて利用が多くなってきていると考えられます。人材について何かありませんか。</p>
D委員	<p>うちの施設のグループホームについて人材が不足していて、2ユニットで18人入所できるところ13人となっています。2ユニットでは職員の夜勤が続く状態で、人が集まらなると介護資源があっても期待に応えられないという状況です。</p>
E委員	<p>高齢者あんしん支援センターの業務実績をあげてもらっているところですが、総合相談について1人あたりの相談時間が増えてきています。その傾向として身元保証人を探す業務なども増加してきているが、関係がある人を探し出すことが難しい状況です。こうしたことから困難事例への対応件数や介護支援専門員に対する個別支援件数が増加傾向にあるところです。</p> <p>虐待への対応件数は、単年度で見ると増えているが、長期化していることが問題であると考えられます。分離ができればよいのだが、家族も本人もそれを望んでいないケースもあるので、その場合どのようにして介護負担を減らすのか、どちらかと言えば養護者の方の負担を減らすという視点が大事になってきています。こうしたことから、発生してから短期間での解決に至っていない実情かなと思っています。</p>
F委員	<p>資料12ページのサロン数について、斐川町が13、出雲市は219で極端に少ないのは、原因は何ですか。申請の仕方とか知らないといったことはないですか。</p>
事務局	<p>サロンについては、各地域独自のやり方で運営されているところですが、斐川地域の特徴としてコミセンという大きな単位で運営している状況です。他のところは町内単位で運営しているところもあるために、数に違いがあると考えます。</p>
F委員	<p>コミセンの事業で活動すると、コミセンの中の補助金で運営しているのですか。</p>
事務局	<p>サロンについては、市と社協の助成金で行っております。</p>
F委員	<p>やり方とか横の繋がりを増やしていきたいところですが、どうしたらいいのかなと思いました。</p>
C委員	<p>ふれあいサロン事業の質問がありましたが、私の所では、福祉委員さんを中心に熱心に行っていただいています。町内会単位で、血圧測定、笑いヨガ、軽スポーツ、懐かしい歌の合唱をしたり、お話を聞いたり、アトラクションを鑑賞したり等、様々なことをやっています。講師さんもボランティアで来ていただく人も結構おられます。</p>

	<p>サロン事業について、参考になれば出雲市社協に聞いてみてもよいのではないかと思います。</p>
F委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは、報告事項（２）介護サービス基盤整備計画に基づく施設等整備事業者の公募について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（２）介護サービス基盤整備計画に基づく施設等整備事業者の公募について <u>資料８の説明</u></p>
会長	<p>これについて、ご質問等ございませんか。 では、続いて（３）介護人材の確保・定着に向けた取組について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（３）介護人材の確保・定着に向けた取組について <u>資料９の説明</u></p>
会長	<p>これについて、ご質問等ございませんか。 それでは最後の報告となりますが、（４）指定居宅介護支援事業所の指定権限の移譲について、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（４）指定居宅介護支援事業所の指定権限の移譲について <u>資料１０の説明</u></p>
D委員	<p>市としては、休止・廃止せざるを得ない事業所は今後どれだけあると予測されていますか。</p>
事務局	<p>休止している事業所について、主任ケアマネを補うことを前提として休止している事業所もあると聞いています。一人ケアマネとして行っているところもあるので、現時点予測できない状況ですが、これ以上増えないようにしていきたいです。</p>
C委員	<p>介護保険事業所１事業所あたりは何人くらいで経営されていますか。</p>
事務局	<p>さまざまであり、７，８人でやっている所もあるし、１人でやっておられる所もあります。</p>
C委員	<p>研修に行かれるのもなかなか難しいですね。</p>
事務局	<p>通常の業務をしながらでは、なかなか難しいところがありますね。</p>

C委員	<p>施設に属するケアマネではなく、ケアマネは独立した事業所でケアプランをたてて行っていくことは難しいですか。</p>
会長	<p>第3者で独立して、良いサービスを紹介するような保険の窓口的な雰囲気は構想されているが、報酬単価等からそれが難しく施設の一部の展開が多い。女性も多いので育児休暇等を考えるとある程度の規模を持って運営していかないと成り立たないのが実情です。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、議事と報告について終了しましたので、事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>いろいろなご意見をいただきながら、第7期計画を充実させていきたいと思えます。</p>
6. 閉会	<p>以上で、閉会とします。</p>